

一〇一三年度入学試験

一般方式試験問題

国語

注意

- 一、開始のチャイムが鳴るまで開いてはいけません。
- 二、受験番号を解答用紙の二カ所に書き、答えはすべて解答用紙に書きなさい。
- 三、問題は**1**から**3**までで、十一ページにわたって印刷してあります。
- 四、終了のチャイムが鳴つたら、すぐに筆記用具を置きなさい。

【1】

次の各問い合わせに答えなさい。

問1

線のカタカナを漢字に直しなさい。送りがなが必要な場合は、それをひらがなで書きなさい。

田畠をタガヤス。

キカクに合わない野菜。

祖父がユウカンを読んでいる。

生命ホケンに入る。

入学をキヨ力する。

問2

線の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

とても有益な情報。

くわしい説明を省く。

子ども会を組織する。

十巻かんまである本を読破した。

神社で米の豊作に感謝する。

[2] 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

「岩吉、どうじや」と、再び促してみた。

大きな肩をすくめ、やつと「一つ」と呟くように答えた。「よろしい」どうなずき、富太郎は爪先を回した。黒板に向かい、桃の絵を新たに大きく五つ描く。

「さて、次の問い合わせや。桃を七人で喰いたいが五つしかないとする。あと、いくつ要る？」

前列の女兒を当てるに即座に「二一つ」と答える。順に訊いていくと、皆が「二」「一個」と答えていく。先ほどよりさらに簡単な計算であるので間違

える者はいない。問い合わせをもつと捨るべきだったかと思いつつ、最後に岩吉の番だ。

「あといくつ要る」

すると、首を横に振つた。

「要りません」

「ほう、要らぬか」と、富太郎は頬を緩めた。「いくつ要る」と問われて「要らぬ」と答えるのは正解ではないが、不正解は往々にしてサムシングを孕んでいる。

そういう答えを待つておつたがよ。

①浮き浮きと弾んでくる。しかし②生徒らは顔を見合させてざわつき、岩吉の顔はまたもや③熟柿の「」ときになつた。

岩吉は目をしばたかせ、唇を揉むように動かしてから「うちは」と声を押し出すように言つた。

「うちんくじや、いつも桃の木から五つもいで、それを七人で食べります」

「喧嘩にならぬのか」と訊くと、⁽⁴⁾何人もが笑い声を立てた。それにはかまわず、目で先を促す。

「皆吉の家には⑤工夫^{くふう}がありどうぞや。会うて皆へ教えて、いな」

前へ出てくるように手招きをした。すぐに立ち上がるぬのはわかつてるので、また待つた。

「岩吉、わしも教えてもらいたいがよ」

渢々ながらも、ようやく前に出てきた。
〔⑥〕藍木綿の着物は窮屈そうで、手首や太いふくらはぎが剥き出しだ。日なたの草の匂いがする。

岩吉はしばし黒板の前に佇み、そして三つの桃にのろのろと斜線を引いた。引いていない桃も一つある。

「ほう。これはいかなる分け方じや」

「一個まるまるを父ちゃんに食べてもろうて、あの三つを半分ずつ、祖父ちゃんと祖母ちゃん、わしと弟、妹二人で分けるがです」

「すると、一個余る勘定になるが」

「はい。母ちゃんに供えます。仏前に」

思わず目尻が【めじり】。「そうか」と何度もうなずき、席に戻るよう掌で指し示す。岩吉が腰を下ろすのを見届けてから、「えいことを教えてもらつた」と皆を見回した。

「えい分け方じや。それに、皆、⑦この絵をよう見てみいや。五という数は一が五つあるだけでできちゅうわけじやないことがわかるろう。一と一、それには二分の一が六つあつても、五になる。他にもいろんな数が潜んじよりそうちじやのう、面白いのう」

生徒らはじつと息を詰めて目を凝らし、「うちちは四人じやから」と分け方を考え始めた。

「一つ余るき、それを四分の一ずつ、また分ける。ということは、一が四つに、四分の一が四つでも、五になる」

発見した。⑧そんな目をして、頬を輝かせていう。

富太郎は、その感触を忘れてくれるなど願いながら教場を見回した。

最初は伝えることに懸命だつたのだ。⑨この世がいかに面白い事どもでできているか、生徒らに知つてほしかつた。けれど一方的に言葉を発しても、持つていて桶の大きさがそれぞれ異なることに気づかされた。新しいことを三つ学んだら、後はもう溢れてしまう桶もある。そこで、⑩桶が一杯になつた時分に、こうやつて問いかけることにした。

教えること、すなわち一方的に伝えることではない。教えることは、自らで何かに辿り着く瞬間を辛抱強く待つことでもある。思い起こせば、目細谷

の伊藤塾の蘭林先生はよく問い合わせ、よく待つてくれた師だつた。

「ちなみに桃は英語でピイチといふ。ペルシアという異国の名前が語源じや。中国では古来、仙木として扱われ、日本でも邪気を払うと信じられてきた。『古事記』という書物に出てくるぞ。伊弉諾尊が投げつけて黄泉醜女を退散させた話は前にもしたろう。あれが桃じや。旧幕時代は諸藩が競つて桃を作らせたゆえ、産物帖を見渡しても柿、梨に次いで桃が多い」

そこまで話をしたが、教場は鶴の雛のような声で沸き返つてゐる。誰も前を向いておらず、岩吉も隣の席の男児らと盛んに話し込んでゐるではないか。

「おおい、聞きゆうかあ」

富太郎はやれやれと窓外へ視線を投げた。⑪五月の木々が青く赤く芽吹き、風も颯爽と吹く。

問1 ——線①「浮き浮きと弾んでくる」とあります。(1) 誰の気持ちですか。本文中からぬき出して答えなさい。(2)なぜ弾んでくるのですか。

ふさわしいものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 女児の答えが不正解だったから。

イ 要りませんとなまいきに答えたから。

ウ いろいろ考えられそうな気がしたから。

エ 岩吉だけとじっくり話すことができるから。

問2 ——線②「生徒らは顔を見合わせてざわつき」とありますが、生徒たちはなぜざわつくのですか。あてはまるものを一つ選んで、記号で答えなさい。

岩吉の答えが()ものだったから。

ア すばらしい イ つまらない ウ 合理的な エ 予想外の

問3 ——線③「熟柿の「ご」とき」とあります、これはどのような様子を表しているのですか。次の文に合う形で、十字以内で答えなさい。

岩吉の()様子。

問4 ——線④「何人もが笑い声を立てた」とありますが、この後生徒たちの気持ちが大きく変化します。それがわかる表現を本文中から十三字でぬき出して答えなさい。

問5 ——線⑤「工夫がありそじやな」とありますが、何の工夫があるのですか。十五字以内で答えなさい。

問6 ——線⑥「藍木綿の着物は窮屈そうで、手首や太いふくらはぎが剥き出しだ。日なたの草の匂いがする」とあります
がらとしてふさわしくないものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 岩吉があまり^{ゆうふく}裕福ではない家庭に育つたこと。

イ 岩吉がたくましい体格であること。

ウ 岩吉が家の畠仕事を手伝つてゐること。

エ 岩吉が気の強いわがままな生徒であること。

問7 【 】に入る語句としてふさわしいものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 伸びた イ 広がつた ウ 下がつた エ 上がつた

問8 ——線⑦()の絵をよう見てみいや」とありますが、「()の絵」の内容を計算式で表しなさい。

問9 ——線⑧「そんな目をして、頬を輝かせている」とありますが、「()の絵」の内容を計算式で表しなさい。
に本文中から十字でぬき出して答えなさい。

問10 ——線⑨「この世がいかに面白い事どもでできてゐるか」とありますが、今回教えることができた「面白い」こととはどのよう
三十字以内で答えなさい。

問11 ——線⑩「桶が一杯になつた」とあります
が、これは何を例えた表現ですか。ふさわしいものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 生徒たちが授業にあきておしゃべりやよそ見を始めたこと。

イ 生徒たちにこれ以上知識を入れるゆとりがなくなつたこと。

ウ 生徒たちに先生の厳しさに耐える力がなくなつたこと。

エ 生徒たちが知識を得た感動で心が満たされたこと。

——線⑪「五月の木々が青く赤く芽吹き、風も颯爽と吹く」とあります、この表現から読み取れる富太郎の気持ちとしてふさわしいものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 生徒たちに学びの可能性を見いだすことができた喜び。
- イ 生徒たちとのやりとりがやつと終わつたという開放感。
- ウ 授業に興味を持たせられない自分に対するふがいなさ。
- エ 授業をきかない生徒たちに対するいらだち。

③ 次の文章を読んで後の間に答へなさい。（設問の都合で図は省略しました。）

◆ネット情報は、誰が内容に責任を持つているか

インターネットの最大の①利点は、スマートフォンやパソコンなどネットに接続できる機器があれば、誰でも、いつでも、どこからでも、どんな内容でも、個人で発信できることです。情報を受け取る側も、機器があれば、いつでも、どこででも、自分が見たい、知りたいと思った時に利用できます。

インターネットは、世界とつながっていますので、フェイスブックやツイッターなどのソーシャルメディア（SNS）を通じて、世界中の人たちとリアルタイムで意見交換や情報交換ができます。

□ A、知りたいことを検索すれば、即座に関連する項目が表示され、その中には、個人のブログやツイッターなどから、マスメディアの情報、企業の情報、国や自治体の情報、海外からの情報まで、発信元の違う多種多様な関連情報が集められます。

インターネットには情報の無限の広がりがあります。②それだけに、インターネットで伝えられる情報は誰が責任を持っているのかを知つておく必要があると思います。

インターネット企業は、「プラットフォーム」なのか、「メディア」なのかという議論があります。それによって責任の所在が違います。

「プラットフォーム」とは、インターネットを通じた人々の発信や受信を助けるために場所を提供しているだけで、投稿された内容を単に掲載し、ユーチャーに届けているだけだという考え方です。ですから、「プラットフォーム」であれば、ネット上に掲載された情報の責任は、原則として投稿者になります。

□ B、あなたがインターネット上に、さまざまに※誹謗中傷を書き込まれ、被害者になってしまった場合を考えてみましょう。直接の責任は、加害者である誹謗中傷を書き込んだ人物にあります。□ C、個人ではなかなか発信元にたどり着くことが難しく、加害者の特定までにどうしても手間と時間がかかりてしまいます。

その間に、誤った情報がさらに拡散しないよう、急いでネットの書き込みの削除を求める必要があり、※インターネットプロバイダやサイトの管理者、運営者等に「権利侵害情報の削除の申出」を行うことができます。

しかし、③申し出によつて、すぐに削除される場合はきわめて限られています。

「プロバイダ責任制限法」と呼ばれる法律では、被害者に対する責任について、プロバイダ等がその情報を流すことにより、「他人の権利が侵害されて

いることを知っていたとき」「他人の権利が侵害されていることを知ることができたと認めるに足りる相当の理由があるとき」以外は、削除しなくてもプロバイダ等の責任は免れると定めているからです。「認めるに足りる相当の理由」を被害者が立証するのは簡単なことではありません。

なぜこうした法律になつてているのかと言えば、プロバイダ等に安易に投稿内容の責任を負わせると、プロバイダ等が問題のありそうな投稿などを選び出して、掲載を拒否したり、削除したりする「事実上の※検閲」にもつながりかねず、憲法で認められている「表現の自由」などとの関係で問題が生じるためとされています。

このように、④プロバイダやサイトの管理者、運営者等は、問題が起つてしまつたあとの事後の対応でよく、責任はきわめて限られているため、結局、誹謗中傷が掲載されたまま、泣き寝入りせざるをえない場合が多いのが実情です。

一方で、「メディア」とは、インターネット企業がみずから、ニュースやコンテンツの企画や取材、制作などに関わって掲載する場合など、情報の発信者として内容に責任を持つている場合です。

インターネットは、マスメディアと違い、情報やコンテンツの発信者と、その情報を掲載し流通させるプロバイダ等が分かれています。そのため、責任はどこにあるのかがあいまいになりやすく、こうした「プラットフォーム」か「メディア」か、などという議論が発生します。

第1章でも取り上げた2017年11月、アメリカ議会上院で開かれた「2016年米大統領選挙でのSNSの影響」についての※公聴会で、発言を求められたフェイスブック、ツイッター、グーグルの法律顧問はいずれも、コンテンツを事前に編集するテレビなどと違い、SNSは「プラットフォーム」として場所を貸すだけだという見解を表明しました。

また別の公聴会では、議員に「グーグルはメディアか」と聞かれ、グーグルの幹部は「(グーグルは)テクノロジー事業だ」と答えました。

アメリカでは、大統領選挙などで「メディア」として大きな【】を持ち始めたSNSに対し、SNSも世論に責任を負うべきで、インターネット企業は「プラットフォーム」という責任のあいまいさをうまく使ってビジネスに結び付けているのではないかという批判が高まっています。

誰が内容に責任を持っているのか。マスメディアは、インターネットとは違い、誰もがすぐに発信できるメディアではありません。取材網が必要ですし、編集・制作体制も必要です。新聞であればさらに印刷工場から一軒一軒に新聞を届ける宅配制度まで、大きな仕組みが必要です。

テレビで言えば、取材・制作はもとより、放送免許がなければテレビ電波を出すことができません。放送内容については放送法の規定があります。電波を使って全国に届けるための送信所も、さまざまな技術機材も不可欠で、新聞以上の大好きな仕組みが必要です。

それだけに社会的な責任は重く、NHKのような公共的な特殊法人や、新聞社や民放のようなメディア企業が、組織として発信しています。情報やコン

テンツの取材、制作から、読者や視聴者のみなさんに届けるルートまで、NHKやメディア企業が担っていますので、情報の内容についての責任の所在は明確です。

では、⁽⁵⁾マスメディアが伝えるニュース・情報に誤りはないのでしょうか。そんなことはありません。取材確認が不十分な場合、誤報もあります。しかし、多くの人々が同時にその情報に接するため、間違っていた場合は、取材を受けた当事者や関係者をはじめ、視聴者や読者、さらに他のマスコミなどからの指摘が出されます。人から人にツイートされ拡散するSNSと違い、多くの人の目で同時にチェックされているわけです。

そのため、新聞や放送などのマスメディアは、ヒト、モノ、カネをかけて裏付けをとり、それぞれの社がその社のクレジットをつけて、責任を持つて情報発信しています。事実関係のチェックはもとより、報道するかどうかや、報道する内容の判断は、新聞社やテレビ局が公共の利益を考えてみずから行っています。

こうしたニュースや情報が、それぞれのマスメディアの名前を明示して、インターネットにも提供されているわけです。

ですから、みなさんがインターネットで情報に接する時、情報の発信源によるこうした違いを頭に入れておいて、この情報は誰が発信しているかに気を配りながら、インターネット情報とマスメディアからの情報を比べ、それぞれの特性を生かして、情報を読み解いていってほしいと思います。

同時に、自分が発信者となつて書き込みを行う際は、他の人の誹謗中傷^{ひぼうちゅうしょう}とならないよう倫理観^{りんりかん}をもつて行なうことが大切です。

（出典 塚田 祐之『その情報、本当ですか？ ネット時代のニュースの読み解き方』）

※注 謹謗中傷：ありもしない悪口を言って人を傷つけること。 インターネットプロバイダ：インターネットへの接続サービスをする業者。

検閲：思想などの取りしまりのために出版物などの内容を強制的に調べること。

公聴会：おおやけの機関が重要なことがらを決める前に利害関係者・中立者・学識経験者などの意見をきくために開く、公開の会合。

問1 線①「利点」の類義語を次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 名所 イ 長所 ウ 特技 エ 特徴^{ちよう}

問2 □A □Cに入る語を、次の中からそれぞれ選んで、記号で答えなさい。ただし、同じ記号を二度使うことはできません。

ア むしろ イ ところで ウ しかし エ また オ たとえば

問3 ——線②「それだけに」とあります、「それ」が指しているものを解答らんに合うように、本文中の言葉を用いて二十五字以内で答えなさい。

問4 ——線③「申し出によつて、すぐに削除される場合はきわめて限られています」とあります、その理由としてふさわしいものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 他人の権利が侵害されていることを知つていても、事実上の検閲につながるため削除してはいけないと定めているから。
- イ 他人の権利が侵害されていることを知つていても、プロバイダ等が削除する必要はないと定めているから。
- ウ 他人の権利が侵害されていることを知つていたとき等以外は、プロバイダ等が削除することは技術的に難しいから。
- エ 他人の権利が侵害されていることを知つていたとき等以外は、削除しなくてもプロバイダ等の責任は免れると定めているから。

問5 ——線④「プロバイダやサイトの管理者、運営者等は、問題が起こつてしまつたあとの事後の対応でよく、責任はきわめて限られている」とあります、その理由を本文中から三十二字でぬき出して、はじめの五字を答えなさい。（句読点や記号も字数に數えます）

- 問6 【】に入る言葉としてふさわしいものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。
- ア 強制力
 - イ 影響力
 - ウ 忍耐力 にんないりょく
 - エ 想像力

問7 ——線⑤「マスメデイアが伝えるニュース・情報に誤りはないのでしょうか」とありますが、本文の内容に合うものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 時には誤報もあるが、多くの人の目で同時にチェックされているため、情報の正確さや信頼度は高い。しんらいど
- イ 時には誤報もあるが、人から人にツイートされるなど拡散していくので、情報は修正されていく。
- ウ 多くの人の目で同時にチェックされているため、情報はいつも正確なものであり誤報はまつたくない。
- エ 多くの人の目で同時にチェックされているにもかかわらず、情報は不正確で誤報が多い。

問8 みきさんは本文の内容を表にまとめてみました。この表について、(1)、(2)はあてはまる言葉を本文中からぬき出し、(3)はあてはまるものを後のア～エの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

| | | | |
|---------|-----------|--------------|----------------|
| インターネット | (1) | （2） | (3) |
| メディア | インターネット企業 | いつでもすぐに発信できる | 取材網や編集・制作体制が必要 |
| マスメディア | （3） | | |

ア 視聴者や読者 イ 取材を受けた当事者 ウ 新聞社やテレビ局など エ 他のマスコミ

問9 筆者はインターネットでの情報に関して、どのようなことに注意するべきだと言っていますか。情報を受信する時と情報を発信する時に分けて、本文中の言葉を用いて、受信は五十字以内、発信は十五字以内でそれぞれまとめなさい。

問10 あなたは調べ物をする際にインターネット以外ではどのような方法で調べるとよいと考えますか。その方法を一つ挙げ、なぜその方法がよいのか八十字以上百字以内で書きなさい。

これで問題は終わりです。